



おひさま

八代市教育サポートセンター
子ども支援相談室便り
令和5年 2学期スタート号
文責 江藤紀子

子供の気持ちを聴く

Q 子供がふさぎこんでいたり、学校に行きたがらなかつたりすると、家族はとても心配です。いろいろ聞いても話してくれないので、子供の気持ちを知ることが難しいです……。



「聞く」と「聴く」

子育てにおいては、二つの漢字の意味の違いを次のように捉えてみましょう。

「聞く」誰かにいやなことされたの? など、家族が知りたい情報を集めるために子供に質問をすること。

「聴く」子供が聴いてほしいと思って家族に話しかけてくる「子供主体の話」を受け止めること。

日頃から、子供が話しかけてくる時を逃さずに話を「聴く」ように心がけていると、子供は、悩みを抱えた時にも「聴いてくれる」家族に話をします。

Q 子供の話を「聴く」といっても、ふさぎ込んでいる子供が、どんなきっかけで話し出すのでしょうか。ただ待っていても話さないと思うのですが……。



気持ちを「肯定」する言葉で「聴く」きっかけをつくる

ふさぎ込んでいる子供の様子をありのまま「きつそうだね。」と受け入れることが、話すきっかけをつくります。これは、自分の気持ちを分かってくれると感じる言葉かけです。

「きつそうだね。話を聴くよ。」と寄り添って自分から話し出すタイミングを待ってあげてください。

Q 子供が話し始めたらどのように聴いたらよいのですか。子供との会話が続かないのですが……。 →裏面へ

「子供の話の聴き方」

♡傾聴

「うんうん」「へえー」「そう」と、相槌をうちながら、最後まで聴く。

♡肯定

「なるほど、そう思ったんだね」と否定せずに聴く。

♡共感

「まあ！たいへんだったね」「それは、嬉しかったね」と子供の伝えたい気持ちに共感的な返しをする。



♡くり返し

「発表するときすごく緊張する」「そっか・・・緊張するんだね」と、子供の気持ちを繰り返す。

♡確認

「なんでそんなにがんばれたの？」「どうして、そんなこと思いついたの？」と、子供の話に関心を持ち、子供が一番言いたいことを質問をしながら、確認する。

いつも、こんなふうに家族に話を聴いてもらったら、どうでしょうか。子供は自分の気持ちを分かってくれる家族に話を聴いて欲しくてたまらなくなるのではないのでしょうか。

家族で、楽しい気持ちも悲しい気持ちも共有して同じ方向を向いて進んでいけたら嬉しいですね。不登校などの未然防止にもつながると思います。

やつしろ子ども支援相談室

不登校や子育てに関する悩みをお聴きします
一人で悩まず、相談してください

- ・電話 0965-33-6145（相談室直通）
- ・メール kodomo-sien@yatsushiro.jp
- ・面談 やつしろ子ども支援相談室（八代市役所4階）
（月～金曜日 午前9時～午後2時）

